長浜市病院事業 寝具・リネン類等賃貸借等業務仕様書

1. 業務名

長浜市病院事業寝具・リネン類等賃貸借等業務

2. 業務実施場所

滋賀県長浜市大戌亥町 3 1 3 番地 市立長浜病院

滋賀県長浜市木之本町黒田 1 2 2 1 番地 長浜市立湖北病院

滋賀県長浜市木之本町黒田 1 2 2 1 番地 介護老人保健施設 湖北やすらぎの里

3. 契約期間

令和 7 年 3 月 1 5 日～令和 1 0 年 3 月 1 4 日（3 年間）

寝具・リネン類等の設置は令和 7 年 3 月 1 4 日までに完了すること。

この仕様書は、快適に安心して治療を受けられる衛生的な病院づくり及び、病院スタッフが安全に診療できる環境の整備並びに効率的な病院運営を目的として作成するが、今後、病院運営の変動に伴い本書に記載のない事項が生じても、柔軟に対処することを前提とする。

地方自治法第 2 3 4 条の 3 の規定による長期継続契約であるが、翌年度以降において、予算の承認が得られない等の理由により、業務内容に変更等があった場合は、契約を変更又は解除することがある。

4. 業者選定

条件付き一般競争入札

5. 業務内容

1) 市立長浜病院

(1) 市立長浜病院で使用する寝具・リネン類等（以下「寝具等」という。）の賃貸借と管理

- ① 1 日 1 床 1 組を基本とし、一般病棟 3 0 0 組、療養病棟 3 1 組、回復期リハビリテーション病棟 4 2 組、外来（人工透析室含） 9 0 組を賃貸借する。また、当直者用寝具については 1 日 1 9 組を基本とする。（数量については、± 2 0 % 以内の増減を許容範囲とする。）
- ② 寝具等の仕様及び病院全体年間洗濯数量実績数は、別紙「市立長浜病院寝具・リネン類等内訳書及び基準仕様書（資料 1 - 1）」のとおりとし、色・柄等については落札業者決定後、病院と別途協議することとする。
- ③ 寝具等の規格・寸法については、資料 1 - 1 を基本とした同等規格品とする。

ただし、病院の指示する保管場所に必要十分量保管できる同等品であること。

- ④ 寝具等管理業務の内容については下記のとおりとするが、詳細については落札業者決定後、病院と協議して決定するものとする。

ア. 寝具等の病院への集配

イ. 寝具等の在庫管理（清潔・不潔リネン室、各病棟リネン庫）

ウ. 寝具等の定期及び臨時クリーニング

エ. 寝具等の点検、補修

オ. 寝具・リネン類（タオル類含む）の病院内受渡（集配）

・ 外来、各病棟、透析室への清潔寝具・リネン類（タオル類含む）の配布、及び不潔寝具・リネン類の引き取り

・ 人工透析室は毛布と包布をセットし配布

カ. 清潔品の仕分け、たたみ等

キ. 不潔品の仕分け

ク. 各種台帳、寝具引渡し伝票等の管理

ケ. 各部署からの臨時請求等に対する対応

- ⑤ 常駐時間

ア. 月曜日から金曜日まで 午前9時から午後4時まで

イ. 土曜日、日曜日及び祝日は休日としますが、3日間以上の連続した病院の休診日においては、当院が指定する日に業務を行うこと。また、業務の体制により変更も可とする。ただし、変更があるときは事前に双方で協議するものとする。

（2）洗濯業務

- ① 洗濯物の種類及び概算数量については、別紙「市立長浜病院洗濯品目表及び予定数量（資料2）」、清潔物・不潔物の仕分け、洗濯、乾燥及びたたみ業務とするが、詳細については、落札業者決定後、病院と協議して決定するものとする。

- ② 病院所有の洗濯物で、外部にクリーニングに出し配送された完了品の受け渡し台帳と数量の確認。

- ③ 常駐時間は、5（1）⑤と同じ。

- ④ 常駐従業員は5名以上とする。

- ⑤ 受託者は必要に応じ、洗濯業務の一部を院外工場で実施することができるものとする。ただし、その際に必要となる洗濯品目は受託者が準備するものとし、納品サイクルは事前に病院と協議し了承を得ること。

（3）入院患者の付添者に対する寝具類の貸し出し業務

受託者は、付添者から申し出があった場合に貸し出すものとし、手続き等について

は、直接申し出のあった付添者で行うものとする。

(4) 寝具等賃貸借および管理委託、洗濯業務委託料の支払積算方法

寝具等の賃貸借料1日1床1組×463組の1か月分と、当直者用寝具1日19組の1か月分（数量については、±20%以内の増減を許容範囲とする。）、寝具等管理及び洗濯業務委託料（常駐従業員）の1か月分の合計金額に、消費税及び地方消費税を加えた金額とする。

病棟の再編等があるため数量等はその都度協議するものとする。

受託者は、契約金額は月額とし、翌月病院に請求する。病院は正当な請求書を受理した後30日以内に支払うものとする。

2) 長浜市立湖北病院

(1) 長浜市立湖北病院で使用する寝具・リネン類等（以下「寝具等」という。）の賃貸借と管理

- ① 1日1床1組を基本とし、一般病棟44組、地域包括ケア病棟32組、療養病棟52組、外来（透析室含）66組を賃貸借する。また、当直者用寝具については1日6組を基本とする。（数量については、±20%以内の増減を許容範囲とする。）
- ② 寝具等の仕様及び病院全体年間洗濯数量実績数は、別紙「長浜市立湖北病院寝具・リネン類等内訳書及び基準仕様書（資料1-2）」のとおりとし、色・柄等については落札業者決定後、病院と別途協議することとする。
- ③ 寝具等の規格・寸法については、資料1-2を基本とした同等規格品とする。ただし、病院の指示する保管場所に必要十分量保管できる同等品であること。
- ④ 寝具等管理業務の内容については下記のとおりとするが、詳細については落札業者決定後、病院と協議して決定するものとする。
 - ア. 寝具等の病院への集配（週2回）
 - イ. 寝具等の在庫管理（清潔・不潔リネン室）
 - ウ. 寝具等の定期及び臨時クリーニング
 - エ. 寝具等の点検、補修
 - オ. 寝具・リネン類の病院内受渡（集配）
 - 本館1階リネン庫への清潔寝具・リネン類の配布、及び不潔寝具・リネン類の引き取り
 - カ. 清潔品の仕分け、たたみ等
 - キ. 不潔品の仕分け
 - ク. 各種台帳、寝具引渡し伝票等の管理
 - ケ. 各部署からの臨時請求等に対する対応

(2) 入院患者の付添者に対する寝具類の貸し出し業務

受託者は、付添者から申し出があった場合に貸し出すものとし、手続き等については、直接申し出のあった付添者を行うものとする。

(3) 寝具等賃貸借料の支払積算方法

寝具等の賃貸借料1日1床1組×194組の1か月分と、当直者用寝具1日6組の1か月分（数量については、±20%以内の増減を許容範囲とする。）の合計金額に、消費税及び地方消費税を加えた金額とする。

病棟の再編等があるため数量等はその都度協議するものとする。

受託者は、契約金額は月額とし、翌月病院に請求する。病院は正当な請求書を受理した後30日以内に支払うものとする。

3) 湖北やすらぎの里

(1) 湖北やすらぎの里で使用する寝具・リネン類等（以下「寝具等」という。）の賃貸借と管理

- ① 1日1床1組を基本とし、入所（短期入所含む）84組、通所10組を賃貸借する。（数量については、±20%以内の増減を許容範囲とする。）
- ② 寝具等の仕様及び病院全体年間洗濯数量実績数は、別紙「湖北やすらぎの里寝具・リネン類等内訳書及び基準仕様書（資料1-3）」のとおりとし、色・柄等については落札業者決定後、施設と別途協議することとする。
- ③ 寝具等の規格・寸法については、資料1-3を基本とした同等規格品とする。ただし、施設の指示する保管場所に必要十分量保管できる同等品であること。
- ④ 寝具等管理業務の内容については下記のとおりとするが、詳細については落札業者決定後、施設と協議して決定するものとする。
 - ア. 寝具等の施設への集配
 - イ. 寝具等の在庫管理（清潔・不潔リネン室）
 - ウ. 寝具等の定期及び臨時クリーニング
 - エ. 寝具等の点検、補修
 - オ. 寝具・リネン類の施設内受渡（集配）
 - 本館4階及び5階リネン庫への清潔寝具・リネン類の配布、及び不潔寝具・リネン類の引き取り
 - カ. 清潔品の仕分け、たたみ等
 - キ. 不潔品の仕分け
 - ク. 各種台帳、寝具引渡し伝票等の管理
 - ケ. 各部署からの臨時請求等に対する対応

(2) 寝具等賃貸借料の支払積算方法

寝具等の賃貸借料1日1床1組×94組の1か月分（数量については、±20%以

内の増減を許容範囲とする。)の合計金額に、消費税及び地方消費税を加えた金額とする。

病棟の再編等があるため数量等はその都度協議するものとする。

受託者は、契約金額は月額とし、翌月施設に請求する。施設は正当な請求書を受理した後30日以内に支払うものとする。

6. 各リネン室、洗濯室及び病棟リネン庫等の指定場所

別紙「平面図(資料3-1、3-2、3-3)」のとおり

7. 洗濯・消毒等

- (1) 受託者は、寝具等の洗濯物について良好な衛生管理を行うため、医療法(昭和23年法律第205号)第15条の3、医療法施行令(昭和23年政令第326号)第4条の7、医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の14、「医療法の一部を改正する法律の一部の施行について」(平成5年2月15日付け健政発第98号厚生省健康政策局長通知)第3、及び「病院、診療所等の業務委託について」(平成5年2月15日指第14号厚生省健康政策局指導課長通知)の別添1に定める「病院寝具類の受託洗濯施設に関する衛生基準」を満たすものであること。
- (2) 受託者は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第6条第2項から第5項まで又は第7項に規定する感染症の病原体(以下、「1類感染症等の病原体」という。)により汚染されている寝具等(汚染されているおそれのある寝具類を含む。)であって、病院において「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第29条の規定に基づいて定められた消毒方法によって消毒されていない寝具等の洗濯を受託することはできない。
- (3) 受託者は、1類感染症等の病原体以外の感染の危険がある寝具等であって、「病院、診療所等の業務委託について」(平成5年2月15日指第14号厚生省健康政策局指導課長通知)の別添2に定められた消毒方法によって消毒されていない寝具等の洗濯を受託することはできない。
- (4) 受託者は、(2)(3)に規定する寝具等以外の寝具等であって、感染の危険性のあるものの寝具を受託する場合には、やむを得ないものを除き、これに係る消毒は病院内の洗濯室で行うこと。(市立長浜病院のみ)寝具等の洗濯回数、仕上げ条件等は資料1のとおりとするが、汚染等により基準外に必要なものについては都度適正に対応すること。
- (5) 退院等により搬出した寝具等は速やかに洗濯及び消毒を実施し、常に良好な状態に整備しておくこと。
- (6) 受託者は納品する寝具類の細菌検査を年2回以上実施し、その結果を病院に報告すること。

(7) 受託者は、上記(1)から(6)の事項を厳守していることを確認するため、病
から報告書の提出を求められた場合は、適宜対応すること。

8. 業務遂行上の注意事項

- (1) 受託者は、一般社団法人日本病院寝具協会に加盟していること。
- (2) 受託者は、病院専門の洗濯施設を有し、病院に提出した医療関連サービスマーク
の認定を受けた工場での洗濯を行うこと。
- (3) 受託者は、クリーニング業法第5条第1項の規定により、都道府県知事に対して
行っている届出の写しを病院に提出すること。
- (4) 受託者は、クリーニング業法に基づき、必ず設置することとされているクリーニ
ング師の資格証の写しを病院に提出すること。
- (5) 受託者は、病院ならびに関係諸官庁の指示に従い、洗濯、修理設備並びに倉庫の
立ち入り検査の要求に応じること。
- (6) 受託者は、委託された業務を第三者に再委託してはならない。ただし、病院が認
めた場合はこの限りではない。
- (7) 受託者は、国等による環境物品等の調達に関する法律（平成12年法律
第百号）グリーン購入法に沿う物品を揃えることが望ましい。
- (8) 受託者は、業務の遂行にあたり、病院の指導監督を受けるものとする。
- (9) 受託者は、業務に必要な作業員を必要数常駐させ、実務責任者を配置し、業務に
万全を期すること。（市立長浜病院のみ）
- (10) 受託者は、この業務に従事する従業員で病院に出入りし、作業する者については、
あらかじめ病院に従事者名簿を提出し、承認を得ること。（市立長浜病院のみ）
- (11) 受託者は従業員に対し、病院の承認を得た被服および名札を着用させること。（市
立長浜病院のみ）
- (12) 受託者は業務のために使用する病院リネン室等を定期的に清掃し、常に清潔を保
つこと。
- (13) 受託者は、寝具等の交換作業を円滑にするため必要数のリネン車及びランドリー
ボックス等を準備すること。機種は、内容物が見えないものを選定すること。
- (14) 清潔で円滑かつ均一な寝具等の供給を継続することはもちろんのこと、納入時の
検査において不合格が生じた場合、速やかに処理または交換すること。
- (15) 集配については、週2回以上実施し、清潔品搬送用の専用車輛、不潔品搬送用の
専用車輛にて行うものとする。なお、同一車輛における隔壁等による分別は不可
とする。また、搬出入に使用する車輛は、オゾン消毒設備等により衛生的に取り
扱うものとする。
- (16) 病院業務の円滑な実施のため、臨時的に必要な予備の寝具等を病院と協議の上、
常時病院内に備えること。
- (17) 寝具等の定数について、年1回以上、一斉定数点検を行うものとする。

- (18) 病院が、故意または重大な過失により寝具等を焼失、大破損、又はその他の事由により返品できない場合、契約締結時に定める弁償金を支払うものとする。ただし、修理可能なものについては、都度双方協議のうえ弁償金を支払うものとする。

9. 損害賠償責任

受託者の責任に帰すべき事由によって、病院または第三者に損害を与えた場合、受託者はその責任を負うものとする。

10. 費用負担区分

この業務にかかる費用の負担区分については、「負担区分一覧表」（資料4）のとおりとする。

11. その他

- (1) 受託にあたっては、労働争議、天災地変、その他の事由により業務を遂行できなくなった場合に備え、(社)日本病院寝具協会の業務代行保証書を提出すること。
なお、保証料等については受託者の負担とする。
- (2) 受託者は、業務遂行時に事故が発生した場合には、ただちに病院職員に報告し、指示を受けなければならない。また、事故発生時に適切な対応ができるよう対応手順を明確にしておかなければならない。
- (3) 災害（天災、人災とも）時において、病院から緊急の対応を求められた場合は、可能な限りこれに対応するものとする。
- (4) 受託者は、業務の実施にあたり知り得た病院及び患者の秘密を第三者に漏らしてはならない。業務の実施にあたり知り得た個人情報の取扱について、「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）及び別記「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。これについては契約の解除、期間満了、従業員の離職後も同様とする。
- (5) 受託者は、接客態度や身だしなみには細心の注意を払い、患者等に不潔不快の念を抱かせてはならない。また、公立病院の従事者であるという精神をもって業務にあたり、患者への治療・看護並びに病院運営に支障となる行為は絶対にしてはならない。
- (6) 受託者は業務にあたる従業員に対し、作業手順、感染予防対策、接遇等、業務の遂行に必要な事項について年2回以上研修を行うとともに、十分な指導・教育を実施しなければならない。また、実施したことを病院に報告しなければならない。
- (7) 受託者は寝具等の洗濯、補修及び運搬等に従事する従業員の健康管理には十分配慮し、1年に1回以上の健康診断を実施し、病院に報告すること。
- (8) 病院敷地内は禁煙であり、遵守すること。
- (9) この入札にかかる費用については参加者負担とする。